資料6

議題６　福祉避難所での医療的ケア児・者の受入れについて（尾張旭市提出）

市名	回答		
	（1）医ケアの想定避難者数の算出根拠	（2）医ケアの受入れ先	（3）看護師・ヘルパーの確保方法（介護者が不在の場合）
名古屋市	医療的ケアを必要とする方の想定避難者数は算出していない。	本市では、福祉避難所の要件に非常用電源設備等は定めていないため、必要な医療的ケアの状況に応じて、非常用発電設備が整備されている社会福祉施設等や、医療機関に調整を図るものと考えている。	社会福祉施設等や医療機関の協力を得るものと考えているが、市全体として不足する場合は、国、愛知県、応援協定自治体等と連携し地域外からの応援による確保が必要と考えている。
豊橋市	福祉避難所への想定避難者数を把握していない	介助者が同伴するのを条件に、電源が確保されている福祉避難所（ホテルや受入協定施設含む）にて受入れを想定	確保できていない
岡崎市	災害時避難行動要支援者（登録者）のうち、呼吸器障害・排尿配慮・食事配慮の特記事項が記載されているかた。	具体的に決まっていない。	具体的に決まっていない。
一宮市	想定避難者数を算出していない	協定を締結している社会福祉法人等の施設	
瀬戸市	未算出	協定先福祉避難所	未検討。
半田市	想定避難者数は算出していない。	未定	事業者との支援者派遣協定締結
春日井市	算出していない	指定福祉避難所（バリアフリー化された公共施設）　又は　協定締結先社会福祉施設	特段の定めなし
豊川市	45名（把握している医ケア（４０歳未満））	公共機関において、医ケアの受入れ先は特になし。 協定を締結した民間社会福祉施設において、現状の医ケアの受入れ先はないが、今後検討していく。	現状、看護師・ヘルパーの確保方法は確立されていないが、今後検討していく。
津島市	当市では福祉避難所の整備が不十分なため、他団体の回答を参考にさせていただきます。		
碧南市	市が把握している医ケア者・医ケア児の人数(最大数３４人)	福祉避難所である「デイサービス中山」（市内介護事業所職員の災害時の活動拠点となる場所）	市内等の介護事業所で構成する「介護サービス機関連絡協議会」と連携し、看護師やヘルパー等の派遣を協議する。
刈谷市	現在、市内の保育園、幼児園、小中学校、障害児通所支援事業所及び障害福祉サービス事業所等へ調査を行い、医療的ケア児・者の総数把握を行っている。※令和７年１０月頃に総数が判明する予定。	刈谷特別支援学校（非常用発電機があるため）	決まっていない。
豊田市	現在、福祉避難所において医療的ケアが必要な方の避難者数の算出は未実施（今年度、検討する予定）	なし（市が協定を締結する機関に交渉する予定）	想定なし（今年度、検討する予定）
安城市	現時点で、医ケア想定避難者の算出は行っておりません。	医ケアに限定した受け入れ先は未検討です。	未検討事項です。
西尾市	福祉避難所での想定避難者数は算出しておりません。	協定先の福祉避難所または被害を免れた社会福祉施設等	看護師・ヘルパーの確保方法を明確に決めておりません。
蒲郡市	蒲郡市電源あんしんネットワーク登録者数（３４名）	蒲郡市電源あんしんネットワークで指定している蒲郡市ボートレース場	なし
犬山市	身体障害者手帳所持者の0.7%（18歳未満のみ）	受入れ先の検討には至っていない。	確保方法の検討には至っていない。
常滑市	医ケア児・者について、想定避難者数として具体的な数字は算出しておりません。	受入れ先としては現在検討中です。	看護師・ヘルパーの確保方法については定めておりません。
江南市	把握できていない	検討中	検討中

議題６　福祉避難所での医療的ケア児・者の受入れについて（尾張旭市提出）

市名	回答		
	（1）医ケアの想定避難者数の算出根拠	（2）医ケアの受入れ先	（3）看護師・ヘルパーの確保方法（介護者が不在の場合）
小　牧　市	医療的ケア児などに特化した避難者数の想定は実施していない。現在市内に３１名の医療的ケア児・２名の医療的ケア者が存在	医療的ケア児に特化した避難所は無いが、非常電源や酸素濃縮器等が配備されている福祉避難所が受入れ先となる。	福祉避難所４か所に対して保健師１５名、看護師３名の配置を予定しているが、１カ所に常時配置できるのは３名程度であり、市内福祉事業所、ボランティアなどの協力を期待している。
稲　沢　市	当市においては、医ケアの想定避難者数は未算出である。	当市においては、受入れ先の指定はしていない。 医ケア児については、平常時から看護師を配置している保育園３園及び、医ケアの受入を行っている協定締結済みの福祉施設を想定している。	市内保育園の内３園に、平常時より看護師を配置しており、災害時における福祉避難所として運用する際の医ケア児の受入時にも活用することを検討中。
新　城　市	具体的な算出根拠は有していない。	新城市民病院又は隣接市医療施設等	新城医師会との災害協定
東　海　市	重度心身障害者及び訪問看護を利用している医療的ケア児	重心施設「にじいろのいえ」（大同宏緑会）	現時点で画期的な確保には至っていません。
大　府　市	６５歳未満の障がい者および障がい児については、障がい児・者の担当部署にておおむね人数を把握している。	医療的ケアが可能な福祉避難所等（医療的ケアのある障がい児者が通常利用している施設が福祉避難所に指定されている場合）	現時点で居宅介護事業所や訪問看護事業所との協定締結は行っていない。今後、医療的ケア児の協議の場等で協議が必要と考えている。
知　多　市	算出していない。	現時点では、決まっていない。	現時点では、決まっていない。
知　立　市	医ケア児・者については、福祉サービスの利用状況から一部把握しているが、医ケアの想定避難者数は、現在算出できていない。	協定を締結した福祉避難所のうち、身体障害者の受入れを対象としている施設。	医ケア児・者の福祉避難所での受入れは、原則介護者の同伴をお願いしている。 訪問看護ステーション等の事業所との協定は現在検討中。
尾 張 旭 市	議題提出市	議題提出市	議題提出市
高　浜　市	算出していない。	「医ケア」という枠での受け入れ先は定めていない。	検討中。
岩　倉　市	算出していない。	受入れ可能な避難所はないが、江南看護学校を検討している。	特になし
豊　明　市	想定避難者数としては算出していないが、当市には約30人の医療的ケア児・者がいる。	個別避難計画を作成しながら検討中	検討中
日　進　市	避難者数の算出を現状しておりません。	かかりつけ医療機関との連携	医師会等との協定を締結し、有事の際は派遣要請を行う。
田　原　市	現在は避難者数の想定はしておらず、今後、個別避難計画の作成と併せて避難者数を確認していく。	市が指定する福祉避難所（４施設） 協定に基づく福祉避難所（４事業所、１０施設）	事業所との協定締結
愛　西　市	本市では、①喀痰吸引、胃瘻栄養②中心静脈栄養③導尿の医療的ケアを必要としている方を医療的ケア児・者の対象としており、本市で把握できている対象者の数を算出根拠としています。	非常用電源のある愛西市発達支援センター	福祉避難所への避難については、介護等にあたる最低限の家族等と避難することを想定しています。 介護者が不在の場合は、ショートステイ等の利用や医療機関への移送を検討します。
清　須　市	想定避難者数は市で把握している医ケアの実数値を使用している。（22人）	地域福祉避難所であり非常用電源のあるアルコ清洲	介護者不在を想定していないため取り決めていない。
北名古屋市	健康課が把握している人数（訪問看護からの情報提供及び健康課担当ケースのとりまとめ資料など）	本市では受入予定なし（医療器具の整備がないため）	健康課による事前の看護師のボランティア募集及び災害ボランティアセンター開設後の支援
弥　富　市	想定避難者数は未定	市の福祉センター２か所、民間の社会福祉施設４か所	
み よ し 市	医療的ケアが必要と思われる11人を想定	検討中	検討中（市民病院等に要請）
あ　ま　市	医療的ケア児は障害者手帳交付時等に個別に把握しているが、者は把握していない。現段階では避難者数は把握していない。	現段階では調整に至っていない。	現段階では調整に至っていない。
長 久 手 市	算出していない	福祉避難所として指定している福祉の家	